

平成29年7月

GSAS 会長 井野公雄

GSAS 会員 山口幸治

平成29年7月28日(金)、(一財)群馬県建築構造技術センター会議室において、平成29年度第1回構造研修会が会員27名の出席にて開催され、各会員、真剣に講師の説明を聞き、自己研鑽に努めていた。

今回の研修会の内容は以下の通りであった

### ① テーマ【『耐震・免震・制震デバイスを用いた工法の解説』】

#### ② 目的

近年の大地震では震度7が数回記録されました。そのため耐震設計は今まで以上にその性能向上が期待されると思います。今回の研修会では「地震に備えるデバイス」を認知・学習することで設計技術の向上を図る事を目的とした

#### ③ 研修内容

##### I. 「一座屈拘束ブレース、制振間柱による耐震・制振補強工法」

JFEシビル(株) 吉永 光寿 様

- ◆ 二重鋼管座屈補剛部レースの設計例及び性能の説明
- ◆ 履歴型ダンパーによる制震補強の紹介
- ◆ 制振間柱の性能の説明



##### II. 「告示免震の概要と球面すべり支承 (NS-SSB) の設計事例について」

新日鉄住金エンジニアリング(株) 中川 真里奈 様

- ◆ 球面すべり支承 (NS-SSB) の性能・設計方法の説明
- ◆ 免震NSUダンパーの設計例及び性能の説明
- ◆ アンボンドブレースの特性及び設計例の説明



##### III. 「耐震性を向上させる木造用金物・工法」

岡部(株) 田口 朝康 様

- ◆ 高耐力壁専用柱脚工法の性能・設計例及び施工事例の説明
- ◆ 木造筋交い金物の設計例及び性能の説明
- ◆ OKABE免震システムの設計例及び性能の説明

